

2012～13年度

国際ロータリー 第2790地区 第13分区

ロータリー情報研究会

「職業奉仕に生きること」

— 話し合い 語り合おう —

- 日時 : 平成24年11月9日(金) 13:30～16:30
場所 : クリアビューゴルフクラブ&ホテル
ホストクラブ : 野田東ロータリークラブ
参加クラブ : 野田ロータリークラブ
野田東ロータリークラブ
流山中央ロータリークラブ
野田セントラルロータリークラブ
流山ロータリークラブ

[プログラム]

司会	野田東ロータリークラブ幹事	笠原 紀彦		
13:00	登録開始	(名札持参)各クラブで受付		
13:30	点鐘	第13分区ガバナー補佐		
	国歌斉唱			
	ロータリーソング「奉仕の理想」			
	ホストクラブ会長挨拶	野田東ロータリークラブ会長		吉澤 太郎
	主催者挨拶	第13分区ガバナー補佐		松田 武
	地区職業奉仕委員長			海寶 勘一
14:20	情報研究会	テーマ「職業奉仕に生きること」 ～話し合い 語り合おう～		
15:20	(休憩10分間)			
15:30	成果発表(各5分)			
		Aグループ野田RC	発表者	浅野 泰泉
		Bグループ流山RC	発表者	青木 修
		Cグループ流山中央RC	発表者	玉乃井 哲夫
		Dグループ野田セントラルRC	発表者	勝田 茂
		Eグループ野田東RC	発表者	榊 祐信
	挨拶	地区職業奉仕委員		堀内 正一
	挨拶	地区職業奉仕委員		松田 康長
	謝辞	第13分区ガバナー補佐		松田 武
16:30	点鐘	第13分区ガバナー補佐		松田 武
	地区委員氏名			
	海寶 勘一	(飯合 行夫)	堀内 正一	
	松田 泰長	高梨 昇一郎		

〈懇親会〉

司会	野田東ロータリークラブ親睦委員長	上原 元則		
16:50	挨拶	第13分区ガバナー補佐		松田 武
	挨拶	地区職業奉仕委員		高梨 昇一郎
	乾杯	直前野田東RC会長		遠藤 博一
18:00	中締め	会長エレクト野田東RC		沼野 秀樹

会長挨拶

ホストクラブ会長 吉澤 太郎

皆様こんにちは。本日は、お忙しい中、このように多勢の御参加を頂きまして、ほんとうにありがとうございます。

各クラブの会長、幹事様を始め、会員の皆様のクラブに対する思いを強く感じ開催クラブとしては、こんなにうれしい事はありません。

本日は、5グループに分け、ディスカッションしやすいテーブルセッティングにしました。テーマにとらわれず、楽しく過ごして頂ければと思っています。

それでは、長時間ですが、テーブルマスターを中心に始めて下さい。よろしくお願い致します。

挨拶

13分区ガバナー補佐 松田 武

本日は、長時間にわたり職業奉仕のテーマでお話し合いを頂き有難う御座います。

私も今日は「職業奉仕」とは、と言う事で考えて見ました。

他の奉仕委員会は目的が解かり易く、例えば社会委員会では障がい者、又は老人ホーム等でイベントを聞いたり、少年野球、サッカー等大会を開いたり、国際奉仕委員会では、恵まれない国の子供達に学校を作ろうとか、毎日2～3キロの道を水汲みに子供達が行くという所に井戸を掘ろうとか、目的が見えますが、職業奉仕にはそれがなかなか見えません。私は職業奉仕は人に働き掛けるのではなく私達一人一人が職業として自分自身を磨き、高める事かと思えます。自分自身を磨く為には「研磨剤」が必要です。それは、今の様なディスカッション、先輩の話を開いたり日々お客様にいろいろ教えて頂く事と思えますが、皆様はどう感じられたでしょうか？

Aグループ発表

野田RC 浅野 泰泉

今日は討議ということで様々な意見を皆様からもらうことに努めました。様々な意見ということで、余談あり脱線ありでまとまる話ではないのですが、それぞれのお話の一たんを紹介させていただきます。

松田ガバナー補佐の方から茂木佐平治さんがガバナー補佐の頃のお話で、コカコーラは飲み物をするのではなくて「スカッとさわやか」を提供する仕事だと、又はディズニーランドは夢を与えることが仕事だとお話がありました。

壬生田さんは旅館業であります「峠の茶屋」という雰囲気でお客様に喜んでもらうというお話があり、これが職業奉仕につながるのではないかと思いました。

笠原さんは病院業ですが企業理念のなかに職業奉仕というものが含まれているか、いないかによって仕事が変わってくるのお話でした。スローガンなのでしょうか「患者さんの良きパートナー」という気持ちで仕事をしているとの事でした。

流山のあばさんは建築業で、自然素材にこだわってそこに暮らす人が健康になる仕事をしておられるとの事です。池田さんも建築業で、地熱を利用した家を作り、冬でも暖かいそうです。そこで暮らすおばあ様が長年痛かったひざが楽になってきたとの話をいただいて非常にうれしかったとの事です。そういうことが職業奉仕につながるのお話でした。

職業は仕事が好きだということが大事だと、好きであるからこそ楽しく喜びがありお客様に伝わるとの事です。

しかし、あまり人の為、人の為とやりすぎると自分がだめになってしまう場合もあり。だからといって自分のことばかり考えて儲けようとするばかりではなお、だめになってしまう。であるからこそバランスをとり、理念の実践と経営の技術、従業員の教育をもって高い気持ちをもって経営をやっていきたい。今のきびしい環境のなかでは皆さんの悩みであり、職業奉仕としての仕事の在り方を求めるところであります。

中村さんは初めての仕事はガラスの性状がとてもおもしろく一生の仕事にしたいと思ったそうです。しかし戦争に行き、帰ってきてからは環境が変わりテントやカバン作りの仕事をしました。本当に面白いと思うのはガラスの仕事であったけれどカバン作りはお客様に合うものを選んでさしあげたり修理をしたり、お客様がほんとうに喜んでくれる。ガラスは自分の楽しみの仕事だったけれども、カバン業はお客様のためであり、喜んでもらえるため、この仕事になったということでありました。

仕事をするのが好きで喜びを感じる事が大事である。

お客様には喜んでもらいそれでこそ職業がなりたっていくとの意見をいただきました。

このような様々な意見がAテーブルの中で話し合われました。

以上で報告とさせていただきます。ありがとうございました。

Bグループ発表

流山RC 青木 修

【各々の職業生活の中でどのように奉仕活動をしているか?】について発表してもらった。

- ・小学校の道徳の時間に、何のために仕事をするのかを勉強した。今では、働くことが人の為になる。
- ・毎週の例会に出席することが奉仕である。建設業界で地域の清掃活動をしている。
- ・建設業で図面通りに正確に建造すること。永く事業を続ける。従業員の面倒をみる。
- ・社会保険労務士の業務を迅速かつ正確に行うこと。
- ・毎月近くの神社の清掃を行っている。
- ・業界全体で高齢化が進んでいるので若者を育てる。正しい納税。
- ・自分の仕事にプライド・高い意識を持って行なっている。
- ・40～50年会社が続いているが、そこに職業奉仕の心があるから続いている。

【クラブでの職業奉仕委員会の活動】について発表してもらった。

- ・優良企業の訪問。外部卓話の実施。
- ・会員の職場に訪問。地区職業奉仕委員会委員の卓話。
- ・ごみゼロ運動の実施。養護施設へのクリスマス慰問。
- ・企業見学。市内の優秀な職業人の表彰。

【四つのテスト】についてクラブでは…。

- ・毎週の例会で唱和。

- ・ 月初に1回唱和。
- ・ 例会では唱和していない。

● 「お客様のお役に立つ、喜んでいただく」→利己と利他→超我の奉仕

社員を教育する、長きにわたり社業を営む上でそのどこかに職業奉仕の理念がいかされている。

● ロータリーにあって、他の奉仕団体に無いものは、ズバリ「職業奉仕の理念」である。

● 奉仕をした時にその受益者が他人であれば→社会奉仕である。

奉仕をして自分に返ってくるのが→職業奉仕である。

Cグループ発表

流山中央RC 張ヶ谷 昇

Cグループのリーダーとして急遽担当しましたので纏まりませんが宜しくお願いいたします。

会員皆さんの職業は多種多用ですが皆さん自身と誇りを持って事業に邁進をしております。お名前は控えますが本業の事業の他に精神的な悩みを持つ学生さんに心の支えをし元気付ける奉仕をしてるロータリアン、年2回のコンサートを開催して地域の活性化に努めているロータリアン、陶芸教室を開催して中学生を対象に体験実習を年1回実施してるロータリアン、幼稚園、保育園を開園してるロータリアン、ご両親が共働きで定時には帰宅出来ないお子様を延長保育で預かり面倒を見ていますが問題も有るそうです。お子さんがご両親よりも先生に懐いて帰宅するのをぐずる園児も居るそうです。今後の課題だと思います。

海外に職を斡旋してるロータリアンその他のロータリアンも自信を持って取り組み職業奉仕、社会奉仕に貢献をしてると思います。

最後に職業奉仕、社会奉仕の区別無く活動を続けることがロータリアンの使命だと思います。

Dグループ発表

野田セントラルRC 勝田 茂

- ・ 参加者の自己紹介と職業分類と経歴
- ・ クラブでは四つのテストをどのように実施し、活用をしているか。
- ・ Dテーブル参加者の殆どの職業は職業奉仕とは縁遠いのでは。
- ・ 職業奉仕と社会奉仕との違いがよく分からない。
- ・ 職業奉仕は実績として現れるものではない。理論の実践すなわち社会に貢献することである。
- ・ 資本主義の競争社会のなか、RC全会員が日々職業奉仕をしているのではないか。
- ・ 職業奉仕とは会社の従業員とサービスを受けるお客様が共に喜べる仕事をする。
- ・ すなわち職業奉仕とは世界の人々が笑顔になること。

みなさん、こんにちは。第13分区ロータリー情報研究会Eグループではそれぞれの所属クラブ、今年度の職業奉仕委員会活動計画を先ず述べて頂きました。幸いに海寶地区職業奉仕委員長に同席頂いておりましたので、助言を頂きながらでしたので大変勉強させて頂きました。「職業奉仕に生きること」のテーマのもと出席者各位が、日頃ロータリアンとして職業奉仕について、それぞれの考えを述べて頂きました。総じて職業奉仕というと解っているようで、その実理解するのが難しいというのが凡その意見でした。

日常的な自分自身の職業に専念し、健全な経営をして倫理道德に照らして恥じることのない仕事をして、例会に出席しロータリー活動することが職業奉仕に通ずることだと思えます。

さて、ここで話は変わりまして、先の地区協議会で配布された職業奉仕委員会よりの参考資料の中に、いくつかの挿話が載っております。その中に「業界と共に生きよ」という話がありました。大変興味深く読ませて頂きましたのでご紹介致します。既に皆様もお読みになった方もいらっしゃると思えます。野田市に本社を置くキッコーマンの話でした。

終戦直後GHQ経済科学局のしょうゆ担当官であったアップルトン女史はしょうゆ業界にこう内示したそうです。当時アメリカから持って来る貴重な「大豆、小麦の不経済な使用を止めよ」と。しょうゆ業界では「困難が来る」という程の大事であったようです。でも、その頃キッコーマンでは画期的なしょうゆ醸造法を発明しました。「新式二号」と呼ばれる方法だそうです。この方法は天然醸造しょうゆに近いそうです。このしょうゆを時の常務茂木啓三郎氏、今のキッコーマン会長茂木友三郎氏の父親です。その茂木啓三郎氏が日本醤油協会の会議で「新式二号」しょうゆについて報告すると、当時の協会長から「ぜひその技術を業界に公開して欲しい」と要望があったそうです。(業界と共に生き、運命を共にせよ)との養父からの教えがひらめいた茂木氏は「お役に立てば結構です」と答え、業界に無料で公開しました。後日、アップルトン女史は「キッコーマンという会社は、不思議な会社だ、せっかく取った特許を、なぜ無料、無条件で公開するのだろうか」と聞いたそうです。茂木啓三郎氏は胸をはってこう答えたそうです。「それは、私どもの先祖からの伝統で、業界全体と運命をともにすることを考えるからだ。特許は、歴史に記録されればそれでいい」と・・・。

経済はギブとテイクで成り立っている社会です。与えたらその報酬を貰うのは当たり前です。しかし、その報いを求めない その行為。日本人の精神構造は仏教の教えにあるのでしょうか。